

瘢痕、ケロイド治療のstate - of - the - art

抜糸後にテーピングを行うことは瘢痕幅の拡大や肥厚性瘢痕/ケロイドの予防に有効である。術後に創離開した場合は創傷管理の3原則, すなわち1)壊死組織の除去, 2)感染予防, 3)湿潤環境の維持の原則に従って処置することで創傷治癒を促進するための環境づくりが重要である。ケロイドのおもな治療方法は、盛り上がった組織を切除する手術と放射線治療、ステロイドなどを用いた保存的治療と考えられているが、現在、複数の治療法を組み合わせることで、その治療法も変化してきた。本シンポジウムにおいては、各施設において施行している治療法を提示していただき、今後の方向性について議論して頂きたい。